



南伊勢町議会だより



ミ ナミ の ギカイ

平成29年2月1日発行 No.40



主な内容

12月定例会	P 2~3
「一般質問」ダイジェスト	P 4
一般質問	P 5~11
委員会視察報告	P12~13
意見交換会	P14~15
ぎかい応援レター	P16~17
みんなでやつとるで～ ほか	P18

まちを笑いで元気に！

— ふるさと劇団公演 —

重点事業と注目ポイント

12月6日から9日までの日程で、第4回定例会が開催され、9月定例会において常任委員会へ付託された平成27年度各会計決算の委員長報告と認定決議が行われました。また、28年度補正予算9件、条例8件、その他議案2件が提案され、すべて原案通り可決しました。加えて1件の諮問案件と3件の委員会発議がありました。

答弁

質疑

登録者数79名。

放課後児童クラブ利用者数は。

答弁

「あさり研究会」の説明を。

3年前から補助をしている。

内容は、食害を防ぎ生育を促進する試験で、昨年は稚貝80キロで試験した。

質疑

一枚貝稚魚補助金について、

相賀浦地区の下水道工事も完了に向かっているが、下水道事業の支出に対するピークは通過したという認識でよいか。

答弁

事故繰越について理由説明を。

病院高台移転に関わるもので、

平成27年度に実施する予定だったが、病院内の調整、設計の遅れによって、県への申請ができず繰り越すことになつた。

答弁

下水道整備計画上では、南島地区の3地区が未整備となつていて、

また今年度、下水道経営戦略を策定する予定で、そのなかに経営状況が盛り込まれる。

各常任委員会に付託された決算審査について審議した結果、賛成多数および全員賛成で認定されました。

平成27年度決算 委員長報告



●報告件数が多数あるため、一部を要約して掲載しています。

平成28年12月議会各会計別補正予算表

会計名	補正前の額	補正額	計
一般会計(8・9号)	105億6721万円	△2億2668万3千円	103億4052万7千円
国民健康保険特別会計	27億4285万円	20万4千円	27億4305万4千円
介護保険特別会計	21億9291万5千円	△84万9千円	21億9206万6千円
戸別合併処理浄化槽事業特別会計	6134万4千円	101万3千円	6235万7千円
下水道事業特別会計	7億4227万7千円	△468万2千円	7億3759万5千円
簡易水道事業特別会計	4億969万2千円	4719万3千円	4億5688万5千円

●簡易水道事業特別会計 補正の主な内容は「中島地区簡易水道改良整備事業 / 4800万円」であった。

長 寿命化で、
末永く愛される大橋に



鋼の腐食、コンクリートのひびわれ、路面の凸凹などを点検し、橋の劣化を進行させないために、修繕工事が行われています。

慥柄阿曾線（南島大橋）

橋梁修繕工事

9805万円

町 立病院新築移転へ



町立病院新築移転に伴い、道路改良工事が進められています。
新築された病院の開院は、平成32年4月1日を予定しています。

1億7212万円
外道路改良工事

尾脇猿口線

その他 議案紹介

諮詢 第1号

- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることがあります。（1件）

光永智子さん
全員賛成

『人権擁護委員』とは

人権擁護委員は、地域の皆さんからの人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済をしたり、地域の皆さんに人権について関心をもつてもらえるような啓発活動をしています。

あなたの声を町政に!!

一般質問

議員の Question 行政の Answer

一般質問は、議員が自分自身の考え方や町民の声をもとに、町長に行政の執行状況や将来に対する政策方針などを問うものです。

質問議員	質問事項	ページ
岡本 真	①「子育てのまち」を目指して ②観光振興について ③人材育成について	5
倉田 育	①各地区・各種団体からの要望書について ②入札による価格競争の見直し・適正化について ③高齢運転者へ行政サポートと通学路の安全確保について	6
山本 周也	①新しい介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な実施について ②障がい者グループホーム建設促進に関する現状と展望について ③簡易水道（南島地区）の上水道への事業統合について ④ひとり親世帯の地方移住支援に関する当町の取組について ⑤「アクアクロス in 南伊勢」の次年度以降の開催について	7
掛橋 靖	①再生可能エネルギー事業導入と環境保全について ②高齢者の自動車運転について	8
手塚 征男	①防災行政無線戸別受信機問題について ②二次避難所の整備問題について ③原発の高レベル放射性廃棄物最終処分場問題について ④介護・町が進める新総合事業について	9
田中 喜一郎	①「南伊勢町の日」について ②所得向上について	10
岡田 和夫	①長距離無線 LAN を活用した災害情報無線システムについて ②平成29年4月から始まる介護予防の新総合事業について	11

一般質問の質問事項・内容は、広報委員会で会議録に基づいて編集し、要約しています。

詳細は議会事務局にお問い合わせください。(TEL 0599-66-1781)

傍聴者 の声

南伊勢町議会定例会へ傍聴に来ていたい方の声を掲載していきます

- テレビ放送では見れない議会の一部始終が見れてよかったです。
- 町の中にある問題を、もっと取り上げて解決してもらいたい。

次回定例議会(予定)

議会を傍聴しませんか

3月
議会

3月2日～3月23日

傍聴の受付は総務課で行っています。

皆さまの傍聴を
お待ちしています。

議会に関するご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

TEL 0599-66-1781 FAX 0599-66-2164



岡本 真 議員



みんな仲良くわきあいあい

Q 当町の多くの課題
に対処していくためには人材育成が必要不可欠では。

A 町長 当町は、人材育成の重要性を認識しており、多くの課題に対応するためには、職員の能力向上及び組織力を高めることが重要であり、実践に活かせるスキルアップのための専門研修へ積極的に参加し、知識・資格等の取得に努めている。

Q 少子化が急激に進行する当町にとつて、子育て世代の移住は効率性のある施策だと考えるが、移住の現状と今後の対策は。

A 町長 子どもを産み育てることに喜びを感じられる環境づくりを目指し、子育て家庭等に結婚・妊娠等、子育て相談、保育延長、放課後児童クラブ、子ども医療費、保育料

等の支援を行っている。当町が「子育て世代が住みいい町」として、認められることが、移住政策において大切と考えている。

少子化に移住対策 子育てしやすい町へ 町長

人材育成は重要 新時代への人材 町長



議論沸騰!!



倉田 育 議員

地区要望の対処は

区長と連絡調整を密に

町長



想いが形に

は。Q

各地区から提出される要望への対応

A 町長 各地区から提出いただいた要望は、関係課と総務課で共有し、町長まで対応等の方針について書面で報告している。また、対応結果についても同様にしている。

事業実施について、緊急

性等の優先順位をつけ対応しているが、厳しい財政状況や、国・県が主体となる事業は、すぐに対応が出来ない場合がある。

対応が遅れる場合は、基本的にその理由をつけて回答している。

交通事故対策は

交通事故のない町へ

町長

Q 近年、高齢者による交通事故・交通違反が多発しているが、高齢者講習費用の一部補助や通学路のカーブミラー、道路標識等の道路状況の見直しなど、交通安全強化が必要では。

める。そのうえで必要に応じて道路管理者、伊勢警察署交通安全係、区等と協議し対応している。今後も交通事故のないように安全確保に努



右よし 左よし!!

A 町長 高齢運転者の講習・検査は法定義務であることから、講習費用の一部補助金は考えていない。また、通学路のカーブミラー、横断歩道の標識等の道路施設は、関係者から危険箇所の情報や改善要望をいただき、担当職員が現場確認を行っている。



山本周也 議員



みんなで「ファイト」

円滑な実施のためには

内容を伝えることが必要

町長

Q
『新しい介護予防・日常生活支援総合事業』とはどのようなものなのか。また、事業推進に向けた課題と展望は。

A
町長 この事業は、これまで介護予防給付として行われてきた通所介護と訪問介護が『新しい介護予防・日常生活支援総合事業』として実施される。課題としては、現行相当のサービスをやってくれる

事業所、緩和型や住民主体のサービス提供者といった担い手の確保と、予算の確保がある。展望・内容については『広報みなみいせ』でのお知らせを予定している。

現状と展望は

しっかりと求めしていく
町長

Q
障がい者グループホーム建設促進に関する現状と展望は。

A
町長 この事業をやりたいという法人があるので、具体的に取組を進めている。平成29年度の新設整備に向けて、三重県には、『障がい者グル



展望を持って

導入と保全について

調和をとつて進める

町長



掛橋 靖 議員



未来と課題

A 町長 太陽光発電事業の事業数、規模について、法令等による届出が必要な案件については把握しているが、全体の件数に関しては把握していない。

Q 太陽光発電事業の現状把握や事業数、規模などの実態は。また課題や問題点、そして今後の対策は。

今後においても重要であり、景観や産業の振興、災害対策などと調和をとつて進めていく必要がある。

生可能エネルギーの活用は、懸念材料となっていることや、災害対策等がある。再生可能エネルギーの活用は、

A 町長 個人差はあるものの、一般的に高齢者ドライバーは、反対・認知・状況判断などが低下し、事故のリスクが高

Q 町内高齢者ドライバーが抱える課題と問題点、対策は。

くなるといわれている。しかし、公共交通機関が少ない当町にとって、車は重要な移動手段となっているので、今後、公共交通機関の利便性の向上を図りながら、町としてどのようなことができるか、さらに検討していく。

課題と問題点は

さらに検討 町長



願いは交通安全



手塚征男 議員



備えあれば・・・

Q マスコミによると、政府は、原発の高レベル放射性廃棄物を地下深くに埋める最終処分場の候補地として適性がある「科学的有望地」を12月にも提示する、と報じられている。このことについて町長の考えは。

A 現時点では示されてはいないが、当町においては、原発建設を白紙撤回させた歴史がある。住民感情も考慮して、「科学的有望地」として提示されたとしても、調査を受け入れなどを考えることはない。

町長の考えは 住民感情も考慮して 町長



町民ファースト

協力をお願いしているが

訓練を実施した 町長

Q 当町が巨大地震・津波で大きな被害を受けたとき、二次避難所について度会町に協力をお願いしているが、その内容は。

A 町長 双方のいずれかに非常災害が発生した場合、災害応急用物資や資器材の供給及び職員等の派遣、被災者の受け入れをすることとなっている。

12月4日、津波災害を想定した避難者受け入れ訓練を両町で実施した。

Q マスコミによると、政府は、原発の高レベル放射性廃棄物を地下深くに埋める最終処分場の候補地として適性がある「科学的有望地」を12月にも提示する、と報じられている。このことについて町長の考えは。

A 現時点では示されてはいないが、当町においては、原発建設を白紙撤回させた歴史がある。住民感情も考慮して、「科学的有望地」として提示されたとしても、調査を受け入れなどを考えることはない。

当町のメリットは 特別入村特典が適用

町長



田中喜一郎 横山 議員



みんなで行こう

Q 『伊勢安土桃山文化村』と、毎月22日を「南伊勢町の日」とする協定を結ばれたことによる当町のメリットと今後の展望は。

また、「南伊勢町の日」には、無料施設を利用して町内の事業者による物産等の販売もできるので、海産物や農産物など、当町の产品を取り扱う地元事業者の出店を促していきたい。

Q 平成25年度「三重県の市町民経済計算」の結果を見ると、一人当たりの市町民所得は、県下で当町だけが200万円を切る198万6千円となっている。今後の対策は。

さらに、地域経済の拡大を目的とした『みなみいせ商工会』の事業内容を具体化し、町内の雇用を増やし、総生産額の増加につなげていきたい。

A 町長 空き店舗などを活用して新規開業等を行う方に支援する『空き店舗等活用補助金事業』を実施している。

また、観光商工課に「創業相談窓口」を設置し、商工会等とともに創業支援の体制を整えて取り組んでいるところ。

今後の対策は 支援の体制を

町長



所得UPへつなげ



岡田和夫 議員



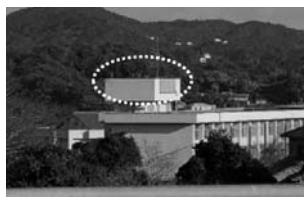
全 景



ANT 設置場所



見通し風景 No 1 (役場→旧五ヶ所中グラウンド)



見通し風景 No 2 (旧五ヶ所中グラウンド→南伊勢高)



見通し風景 No 3 (龍仙トンネル→旧五ヶ所中グラウンド)



見通し風景 No 4 (旧五ヶ所中グラウンド→龍仙トンネル)

確実な確認試験

Q サービス費については事業者、利用者ともに現行と同額とするということか。

A 町長 要支援者の中でも専門的サービスが必要な方に対する体制を作成する。

定。 今後、同様に説明を行う予

A 町長 現在の利用者にはケアマネー

Q 住民に対する新総合事業についての説明は、今後どのように行っていくのか。

Q 5ギガヘルツ帯長距離無線LANを活用した災害情報伝達システムについて、電波伝搬路の見通し確認は実施しているのか。

A 町長 バルーンによる見通しテストを行い、確認した。

Q 伝送路における電波の海面反射の影響は。

A 町長 アンテナをダイバーシティ構成として、影響を軽減させる対策をしていく。

Q 高圧線による、マイクロ波への電磁波の影響は。

A 町長 高圧線の電磁波は15キロヘルツ帯から380メガヘルツ帯なので、影響はほとんどない。

Q 高圧線による、マイクロ波への電磁波の影響は。

電磁波の影響はほとんどない 町長

現行サービスを保障するのか

提供する体制を作る 町長



いきいき長生き

さらなる議会の活性化を目指して！

常任委員会・特別委員会

～より良いまちづくりのために調査・研究などの活動をしています～

今回の視察目的！

産業を軸とした地域活性

産業と観光をコラボさせている先進地を訪問しました。

私たち11月17日と18日の2日間、長野県坂城町と白馬村を訪れました。

町の財政・町税・産業・建設・防災・上下水道・まちづくりなどについて調査や審査を担当しています。

総務建設常任委員会

◆坂城町では、耕作放棄地対策や後継者不足解消など、次世代へつながる農業の再生を図るために、ワイン産業の創出による6次産業化について話を聞きました。坂城町に適したワイン用ブドウの実証品種試験栽培や、小規模事業者の参入が容易になる「さかきワイン特区」認定など先進的な取組を勉強しました。



◆白馬村は日本の民宿発祥の地で、大阪・京都に次いで全国3番目の宿泊施設数となっています。しかし、国内観光客数の大幅な落ち込みから、近年のインバウンド効果による外国人からの観光客の誘致への転換について話を聞きました。「官民一体となつた観光推進組織」で、行政の信用力と民間の企画力・スピードを活かし、観光客誘致営業を行う『白馬村観光局』を設置したり、観光経営の視点の持ち方や、観光誘致に対するスピーデ感・継続性など学ぶべきところが多くありました。

今回の視察目的！

福祉と教育の充実

少子高齢化が県下で最も進む当町にとって、緊急課題であるテーマを取り上げ、先進地で勉強しました。

私たち9月29日、30日の2日間、石川県金沢市と福井県永平寺町を訪れました。

教育・子育て・福祉・医療・生活・環境衛生・健康保険・介護保険などの調査や審査を担当しています。

教育民生常任委員会

◆『シェア金沢』は、『社会福祉法人佛子園』が運営する「多世代共生タウン」です。佛子園は障がい者向けの就労支援事業を率先しながら、高齢者、学生、病気の人、そして、障がいのある人など、分け隔てなく誰もがともに手を携えて、家族や仲間、社会に貢献できる街をコンセプトに地域コミュニティを再生させることを手掛けています。これらの福祉のあり方の一つとして大変参考になりました。

◆今の時代、なにかと忘れがちな「礼の心」の大切さを実践している永平寺中学校は、無言清掃・黙想正座で集中し、15分間の拭き掃除に専念すること、下校時には校門から校舎に一礼することなどを実践し、これらが3年間、自然な作法として定着しています。



議会広報特別委員会

定例会報告を中心に議会活動内容を広報誌によって
町民の皆さんにお届けしています。

私たちは10月25日、東京で開催された全国町村議会議長会主催の広報研修会に参加してきました。

- ◆研修会は、議会活動に対する住民の関心と理解を深めるために、議会広報活動のよりよい発展を目的としています。
- ◆「わかりやすく伝わる議会広報誌作り」を、各分野の講師のもと、広報コンクールで優秀賞を受賞した議会だよりを用いて、伝わる文章の書き方、編集方法、優良議会広報のクリニック等、講習科目を分け学習しました。



国土交通大臣へ要望活動

悲願の国道260号早期改良工事着手にむけて
熱い思いをぶつけてきました！

11月10日、11日の2日間、小山町長、上村議長を先頭に、副議長、各常任委員会委員長、建設課、漁業組合、女性代表者、そして、県の担当者と大船団を組んで、財務省、国会議員会館、国土交通省へ要望に行ってきました。



- ◆国道260号東宮～河内間（三ッ坂峠）の早期改良工事着手への要望活動として、昨年に引き続き国土交通省を訪問。国土交通省では大野政務官、そして石井大臣に直接三ッ坂峠の厳しい道路環境や、生活には欠かせない重要性などを切実に訴えました。特に外湾漁協女性部の方々からの熱い思いは確実に伝わったと確信しています。
- ◆前日には財務省も訪れ、交付金獲得のために要望書を提出しました。また、衆参両議院会館を訪れ、三重県選出代議士の皆さんにも後押しをお願いするとともに、要望書を提出しました。

開かれた議会を目指して！

町内各種団体の皆さんと 意見交換会を実施しました！

※継続中

日々の議会活動として、町内で活動されている方々の話を聞き、町政に役立てる目的で、各種団体や活性化団体、そして、専門職員の皆さんとの意見交換会を実施しています。

今回のテーマ



まちづくりの課題と問題点

11月15日に、地域代表の区長さんと、国道260号の改良整備、防災、山間地の産業振興、地域で困っている問題、そして、議会への要望や苦言など、1時間30分にわたり議論が交わされ、有意義なコミュニケーションの場となりました。視点は違えどまちへの思いは同じということを共有できました。

区長連絡協議会

区長 三ツ坂峠（国道260号）整備の進捗状況は。

議員 11月10日、11日に石井

国土交通大臣と大野政務官に面談。地元の国会議員にも要望してきた。三桁国道なので予算の面でも厳しいが、町民の皆さんにも協力していただき、38集落の要望書を提出した。今回、県で用地調査の予算をつけていただいたので、土俵の上に乗ったのではない

かという感覚。

区長 当議会において議員提案による条例等はどのようなものがあるか。

議員 平成26年6月議会で『南伊勢町魚消費拡大応援条例』、平成27年6月議会で『南伊勢町議会基本条例』を制定している。

区長 町として、再生可能エネルギーに取り組もうと考えているか。

議員 全国の中でもバイオマスの視察に行って研究している最中。これから進めていく方向で現在動いているが、詳細な議論まで達していない。



各保育園長

今回のテーマ



保育園の現状

11月16日に、町内7つの保育園長と保育園の抱える課題や問題について、じっくりと話を聞くことができました。園児の減少や施設の老朽化、防災面での不安など、各園が向き合っている課題がよく理解できました。

- ◆ 南島地区の2つの園については、保育環境が整えられており、防災面でも課題が明確にされています。
- ◆ 南勢地区については、少子化による統廃合、施設整備や防災対策など、抜本的な対策が急務であることを再認識しました。
○この問題は行政の大胆な保育政策の立案と、父兄や地域の皆さんとの理解や、ある意味での決断が伴わないと、課題解決につながらないと感じました。



今回のテーマ



水産業の現状と今後の取組

11月21日に、地元漁業組合役員の皆さんと、基幹産業である水産業が直面している問題や、取組を始めている事業について意見交換を行いました。災害に対する減災対策や施設整備、漁業者の所得向上など、いろいろな話が聞けました。

- 議員** 水産農林課長 奈屋浦漁港の県営化は、重点施設。県と県営に向けて打ち合わせしている。
- 議員** 漁業者への防災対策は。
- 組合** 漁業者の海上避難について3年かけて『海上避難マップ』を策定した。

三重外湾漁業協同組合

組合 奈屋浦漁港は町管理だが、日本屈指の水揚げ高を誇る漁港である。しかしながら老朽化が進み、改修には莫大な費用がかかるのが課題。

災害時における水産業の復興モデル地区として、奈屋浦が全国3か所のうちの1つに選ばれた。さらに水産庁から「浜活プラン」の策定を推進されている。プランの内容として、最終的には5年間で10%の漁業者の所得向上を盛り込んでいる。

課題がある中で、手をこまねいて行政に支援を求めているわけではない。『南伊勢町魚消費拡大応援条例』を策定された際にも賛同し、また、おさかなフェスタなど、魚を中心とした地域の活性化も軌道に乗つつある。議員のみなさんにもご理解いただいて物事を進めたい。



ぎかい応援レター



ぎかい

60代女性



安心に感謝 !!

少人数の保育園に我が孫がいても園舎は高台にあり、新しく、耐震もよい。だから安心して園に預けられる。

この頃地震がひんぱんにあるから、良い場所に園を建ててくれたことを感謝します。



保育園の引きとり訓練



minamiise

ぎかい



60代女性

健康促進に!!

朝7時のチャイムをラジオ体操の音楽にしてほしいな～。ラジオ体操の音楽に合わせて家の中でも庭でも一人で体操ができるし、体の不自由な人でもふとんの中でもイスに座りながらでも音楽に合わせて、自分なりに体を動かすことができると思うけどなー。少しでも体を動かすことで健康にもつながると思うけど・・・

60代女性



新しい国道バイパスに感動 ^^

予定より早く通してくれてありがとう！棚橋峠に続いて賀浦のバイパスが良くなって、南島メディカルセンターや伊勢市への用事に助かるわ。大台病院や紀伊長島への買物にもええし、孫も家にいっぱい遊びに来るわって言うし、秋に孫たちと大江戸温泉へ連れてもらった時、五ヶ所から新しい木谷のトンネル通って宿田曾へ早く着いた時も感動したし。南島に嫁に来た時は、陸の離島って思つたけど今は便利で天国やわ。



minamiise

あなたもつぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^^)/ みんなでつぶやきましょう。思ったこと、感じることを200字程度でつぶやいて、ハガキかFAXで送ってくださいね。

〒516-0194 南伊勢町五ヶ所浦3057 議会事務局宛 FAX 0599-66-2164



みんなでやつとるで～

文
学校篇
No.2

今回は、町内小中学校それぞれの学校でがんばっている事や特色などを紹介します。

災害から命を守る教育

「学校防災教育」



南勢小学校では安心して学べる学校環境を整えるため、様々な防災強化に努めています。東日本大震災の教訓を受け、防災学習の見直しをかけました。今年度は4月に行われた春の避難訓練と別に、12月には全学年対象の防災学習を実施し、各学年の発達段階に応じた災害から命を守る教育を行っています。

子どもたちを守るためにには、子どもたち自身にも命を守る行動を身につけてもらうことが大切で、

「想定外というふうにならないように、最悪を想定に常に行動する」という意識をもってもらい、巨大地震がおきても人的被害ゼロとなるような訓練を心掛けられています。

登下校時についても避難対策を行っています。地区ごとにわかれ、避難場所を確認し地域の危険な場所等を調べ話し合い、児童の視点に立った安全点検を行うなど、新たな課題と向き合い問題解決を図っています。さらに南勢小学校は通学バスを利用する子どもたちも多いため、通学バスの避難ルートを確認し、高台避難がいちはやくできる体制を整えているところです。今後も、児童生徒の安全確保のため、状況に応じた対応が素早くとれるよう、学校・保護者・地域との連携協力に努めます。

■ふるさと教育で心を養う

2017年2月2日「第一回南伊勢町ふるさとフォーラム21」が、ふれあいセンターなんとうにて開催。南勢小学校は【南伊勢町1000人プロジェクト】を発表し、南伊勢町に在住・勤務している1000人にアンケートをとり、ふるさと南伊勢の好きなところ良いところについて、各学年の取組内容とともに紹介を行う。



11月9日に開催された『町村議会議長全国大会』に上村議長が出席されました。大会では、地方創生の実現を目指し一致結束し行動していくことの宣言と、議会機能の強化や農林水産業振興対策をはじめとする17の決議がなされました。また、会場には安倍首相も訪れ、全国から集まった町村議会の議長らに激励の言葉を贈りました。

西年は「取り（トツ）組む」年として、努力すれば実りの多い1年になると認められています。広報特別委員会もより一層、地域の現場の声を反映し、町民の皆さんに親しんでいただけるよう努めてまいりたいと考えております。今度とも、ご感想、ご意見など多数お寄せください。

本年もよろしくお願いいたします。



町村議会議長 全国大会開催

編集後記



向春の候、皆さまにおかれましてはまことに健勝のこととお慶び申し上げます。

今回の編集は、12月定期会より年末年始を挟み委員一同、町内取材と編集会議を重ね、無事に取りまとめることができました。

議会広報特別委員会	
委員長	委員
副委員長	
掛田	山河倉
橋	中喜一芳健
靖郎	隆志育
上村	久仁